

令和6年度 障害者総合福祉推進事業  
「自治体における就労継続支援事業所の要件確認、就労継続支援の報酬体系及び一般就労中の障害者の休職  
期間中における就労系障害福祉サービス等の実態に関する調査研究」に係る  
就労継続支援A型事業所に対する実態調査

以下のアンケートにご協力ください。  
ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。  
一時保存する場合は一時保存ボタンを押してください。  
一時保存ボタンを押した時の入力内容が保存されます。  
再開する場合は、メール記載の本アンケートURLからアクセスしてください。

一時保存

※ は、必須項目です。

本調査は、全国の就労継続支援A型事業所における運営等の状況を把握することを  
目的として実施いたします。

回答の集計結果は統計的に処理し、登録いただいた情報は調査分析以外の目的  
で使用されることはありませんので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

＜調査時点について＞

特に指定がない場合は、【令和6年8月1日現在】の状況をお聞かせください。

＜本調査に関するお問い合わせ先＞

株式会社インサイト（担当者：大塚・関原）

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-8-31

TEL：06-6449-5115（事務局 平日9:30-17:30）

E-mail： insight@insweb.jp

※メールが最も確実に連絡が取れます。出来る限りメールでのお問合せをお願い  
致します。

☐ 運営法人・事業所の基礎情報について

Q1. 事業所番号※

Q2. 事業所名※

Q3. 運営法人の法人格※

- ☐ 社会福祉法人
- ☐ NPO法人
- ☐ 一般社団法人
- ☐ 営利法人（株式会社・有限会社・合同会社等）

☐ その他

Q4. 法人名※

Q5. 貴法人で運営する障害福祉サービス事業所数（法人全体・全サービスの合計数）※

事業所

うち就労継続支援 A 型事業所数

事業所

---

**Q6. 回答いただく方の役職等※**

- ☐ 経営層・経営部門
- ☐ 管理者
- ☐ サービス管理責任者
- ☐ 現場スタッフ
- ☐ 賃金向上達成指導員
- ☐ その他

---

**Q7. 指定権者（指定を受けた自治体）名※**

---

**Q8. 事業所の設立年度（西暦）**

年度

---

**Q9. 事業所設立の経緯**

- ☐ 法人を福祉事業実施のために設立し、新規事業所を立ち上げ
- ☐ 他目的で経営していた法人で福祉事業所を初めて立ち上げ
- ☐ 他障害福祉事業を運営していたところに、就労継続支援A型事業所を増設
- ☐ 他法人で経営していたA型事業所を事業承継

その他

☐

Q10

貴事業所の設立目的または運営する上での考え方に近いものを2つまで選択してください。

☐

通常の事業所に雇用されることが困難な人への就労機会等の提供

☐

利用者の経済的自立を支えるため、賃金の向上を目指す

☐

一般就労等へのステップアップを目指して職業訓練・生活訓練を行う

☐

利用者にとって居場所と sentir られる場となる

☐

利用者の地域での生活を総合的に支援する

☐

一般就労中の一時利用（復職支援等）の機会の提供

その他

☐

Q11

貴事業所は障害者雇用率のグループ算定を受けていますか。

☐

受けている

☐

受けていない

Q12

事業所指定の形態

☐

単独型

☐

多機能型

● 「多機能型」を選んだ方にお聞きます。

Q13 具体的に、どのサービスとの多機能型事業所ですか。

- ☐ 就労移行支援
- ☐ 就労定着支援
- ☐ 就労継続支援B型
- ☐ 自立訓練
- ☐ 生活介護

その他

☐

多機能型の指定を受けた年度（西暦）

年度

● 再び、全員にお聞きます。

- ☐ 事業所の職員体制・定員・利用者等について  
※（再掲）特に指定がない場合は、＜令和6年8月1日現在＞の状況をお聞かせください。

Q14 支援員数（職業指導員、生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者等）

常勤換算人数

生産活動専門職員数（調理員、農業指導員等）

常勤換算人数

賃金向上達成指導員数

常勤換算人数

賃金向上達成指導員の主な業務内容

☐ 賃金向上計画や経営改善計画の作成、達成に向けた取り組み

☐ 利用者の労働時間を増やすための取り組みの立案・改善提案

☐ 利用者のキャリアアップのための仕組みの立案・改善提案

☐ 生産活動収入を増やすための販路拡大や商品開発

☐ 利用者への職業指導

☐ 利用者の心身のケア、面談等

☐ その他

015 人員配置基準＜令和3～6年度＞

	7.5：1	10：1
令和3年度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
令和4年度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
令和5年度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
令和6年度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

016 定員数

人

利用（登録）者数 ※ 障害支援区分別に回答してください。

	利用（登録）者数
区分 1	<input type="text"/> 人
区分 2	<input type="text"/> 人
区分 3	<input type="text"/> 人
区分 4	<input type="text"/> 人
区分 5	<input type="text"/> 人
区分 6	<input type="text"/> 人
区分認定なし	<input type="text"/> 人
合計	<input type="text"/>

利用者の主な障害種別と人数、及びその利用者のうち重度障害者の人数（入力にあたっては下記※を参照のこと）

	利用者数	うち重度障害者数
身体障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
知的障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
精神障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
発達障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
高次脳機能障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
難病	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
-----	------------------------	------------------------

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

※ 利用者数については、便宜的に主たる障害を1つ定め、前問の合計人数と一致するように入力してください。  
※ この設問で言う「重度障害者」とは以下のように定義します。  
・ 障害支援区分4以上 or 職業的重度知的障害者判定を受けている（ハローワークまたは地域障害者職業センターの判定書がある） or 身体障害者手帳2級以上 or 精神障害者手帳1級 or 療育（愛の）手帳の重度（A又は2度）以上の方

利用者の平均賃金（月額）＜令和5年度実績＞

円

1日平均利用者数 ＜令和5年度実績＞

人（小数点第二位を四捨五入）

利用者の1日平均労働時間 ＜令和5年度実績＞

時間（小数点第二位を四捨五入）

平均利用年数

年（小数点第二位を四捨五入）

貴事業所で行っている生産活動の種類のうち、収入（売上高）上位3つを下記一覧から選んで、番号をご記入下さい。

017 また、その3つの生産活動について、その生産活動収入が、事業所全体

収入の何割程度を占めるかお答えください。

(いずれも、おおまかに小数点以下を四捨五入した割合で結構です)

	生産活動の種類	収入割合 (割)
第1位	<input type="text"/>	<input type="text"/>
第2位	<input type="text"/>	<input type="text"/>
第3位	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【生産活動一覧】

- 1.パン系
- 2.洋菓子系（焼き菓子、チョコ等）
- 3.和菓子系（大福、羊羹、干し芋等）
- 4.加工食品（豆腐・味噌・ジャム・製麺、こんにゃく、焙煎珈琲等）
- 5.弁当・惣菜
- 6.飲食店
- 7.喫茶店
- 8.調理補助
- 9.農業（野菜・果物）
- 10.農業（花卉・植物）
- 11.農作業手伝い
- 12.農産品加工
- 13.林業
- 14.水産業
- 15.家畜飼育
- 16.雑貨類（陶芸、和紙、木工、織物、藍染、革製品、ビーズ、縫製等）
- 17.印刷加工（紙以外：Tシャツ、グッズ等）
- 18.組立
- 19.部品加工
- 20.ピッキング
- 21.箱折
- 22.袋詰め
- 23.ラベル・シール貼り
- 24.検品
- 25.色塗り
- 26.清掃（公園、公共施設、企業、集合住宅等）
- 27.植栽管理・環境整備
- 28.PC関連（入力・Web管理等）
- 29.テープ起こし
- 30.印刷（紙：資料、名刺等）
- 31.印刷物の封入・封緘

- 32.メール便配達
- 33.ポスティング
- 34.クリーニング・洗濯
- 35.リサイクル
- 36.マッサージ・あんま
- 37.その他

Q18 貴事業所では、施設外就労を行っていますか。

- ☐ 行っている
- ☐ 行っていない

（「行っている」場合）施設外就労で行っている生産活動の種類のうち、収入（売上高）上位3つまでを上記一覧から選んで、番号をご記入下さい。

Q19 また、施設外就労に出る1ユニット当たりの平均的な利用者数、及び同行する支援者数をお答えください。

	生産活動の種類	利用者数（人）	支援者数（人）
第1位	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
第2位	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
第3位	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Q20 施設外就労を実施する意義・目的について、貴事業所の考えに近いものを2つまで選択してください。

- ☐ 利用者が一般就労に近い環境での就業経験を積むことができる
- ☐ 利用者の作業実績が認められて就職・雇用へつながる可能性がある
- ☐ 事業所内では提供できない多様な仕事の提供（支援）が可能になる

- ☐ 職員の職業指導のノウハウが蓄積される
- ☐ 定員とは別に、定員と同人数までサービス提供ができる
- ☐ その他

**Q21** Q17で答えたそれぞれの生産活動について、1人当たり最低賃金を上回る単価設定ができていますか。

	できている	できていない
第1位	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
第2位	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
第3位	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q22** 直近3年度の利用終了者の移行先と人数をお答えください。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般就労	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
就労移行支援	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
就労継続支援A型	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
就労継続支援B型	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
生活介護	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
入院	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
在宅（※在宅就労ではない）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
不明	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
-----	------------------------	------------------------	------------------------

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

☐ 事業所スコアについて

☒ 直近3年度（令和3～5年度）の実績

**023** 直近3年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
A型スコア合計点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点
（Ⅰ）労働時間 項目点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点
（Ⅱ）生産活動 項目点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点
（Ⅲ）多様な働き方 項目点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点
（Ⅳ）支援力向上 項目点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点
（Ⅴ）地域連携活動 項目点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点	<input type="text"/> 点

Q24

直近3年度の生産活動収支額等について、お答えください。（スコア公表様式2－2より転記）

	生産活動収入から経費を除いた額	利用者に支払った賃金総額	収支
令和3年度	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円
令和4年度	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円
令和5年度	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円

● 今年度（令和6年度）の見込・状況

Q25

令和6年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。

	スコア
A型スコア合計点	<input type="text"/> 点
（Ⅰ）労働時間 項目点	<input type="text"/> 点
（Ⅱ）生産活動 項目点	<input type="text"/> 点
（Ⅲ）多様な働き方 項目点	<input type="text"/> 点
（Ⅳ）支援力向上 項目点	<input type="text"/> 点
（Ⅴ）地域連携活動 項目点	<input type="text"/> 点
（Ⅵ）経営改善計画 項目点	<input type="text"/> 点

（Ⅰ）～（Ⅶ）の各項目について、現在の貴事業所において、各項目に  
 ②⑥ 設定されている上位の（高い）スコアを取ることの難易度はどの程度あります。

	とてもむずかしい	ややむずかしい	やや容易	容易
（Ⅰ）労働時間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
（Ⅱ）生産活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
（Ⅲ）多様な働き方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
（Ⅳ）支援力向上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
（Ⅴ）地域連携活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
（Ⅵ）経営改善計画	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
（Ⅶ）利用者の知識向上・能力向上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

上記項目（Ⅲ）及び（Ⅳ）の詳細項目について、実施している項目をお答えください。  
 また、貴事業所で実施することが困難だと感じる項目にチェックを入れてください。

### （Ⅲ）多様な働き方

	実施している項目	実施困難な項目
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②利用者を職員として登用する制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

④フレックスタイム制に係る労働条件	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤短時間勤務に係る労働条件	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥時差出勤制度に係る労働条件	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(IV) 支援力向上

	実施している項目	実施困難な項目
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②研修、学会等又は学会誌等において発表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③視察・実習の実施又は受け入れ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④販路拡大の商談会等への参加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤職員の人事評価制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ピアサポーターの配置	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦第三者評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

上記で実施困難とした項目について、その理由をお答えください。

※ ここでいう「ピアサポーター」とは地域生活支援事業の「障害者ピアサポート研修（基礎研修及び専門研修）」を修了した障害者又は障害者であったと都道府県又は市町村が認める者、を指します。

● （Ⅴ）地域連携活動を実施している事業所にお聞きします。

Q27 （Ⅴ）地域連携活動として、どのような活動を行っていますか。

- ☐ 地元企業等と連携した付加価値の高い商品開発や新しいサービス
- ☐ 地域社会や地元企業等の抱える課題改善としての連携
- ☐ 企業や官公庁、地域のイベント等での販売機会の創出・販路開拓
- ☐ 子ども食堂やフードバンクへの協力や共働、高齢者への支援等
- ☐ 地域への奉仕活動（掃除やボランティア等）

その他

☐

● 再び、全員にお聞きします。

Q28 スコア方式は、A型の報酬算定方法として適切だと思いますか。

- ☐ そう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない

Q29

（Ⅰ）～（Ⅶ）の項目のうち、貴事業所として「重点的に評価してほしい」項目があれば、具体的な理由とあわせてお答えください。

- ☐ （Ⅰ）労働時間（→具体的な理由）
- ☐ （Ⅱ）生産活動（→具体的な理由）
- ☐ （Ⅲ）多様な働き方（→具体的な理由）
- ☐ （Ⅳ）支援力向上（→具体的な理由）
- ☐ （Ⅴ）地域連携活動（→具体的な理由）
- ☐ （Ⅵ）経営改善計画（→具体的な理由）
- ☐ （Ⅶ）利用者の知識向上・能力向上（→具体的な理由）
- ☐ 特になし

Q30

（Ⅰ）～（Ⅶ）の項目のうち、貴事業所として「見直しが必要だと思う」項目があれば、具体的な理由とあわせてお答えください。

- ☐ （Ⅰ）労働時間（→具体的な理由）
- ☐ （Ⅱ）生産活動（→具体的な理由）
- ☐ （Ⅲ）多様な働き方（→具体的な理由）
- ☐ （Ⅳ）支援力向上（→具体的な理由）
- ☐ （Ⅴ）地域連携活動（→具体的な理由）
- ☐ （Ⅵ）経営改善計画（→具体的な理由）

☐ (Ⅶ) 利用者の知識向上・能力向上 (→具体的な理由)

☐ 特になし

Q31

(Ⅰ)～(Ⅶ)の項目のうち、貴事業所として「不要だと思う」項目があれば、具体的な理由とあわせてお答えください。

☐ (Ⅰ) 労働時間 (→具体的な理由)

☐ (Ⅱ) 生産活動 (→具体的な理由)

☐ (Ⅲ) 多様な働き方 (→具体的な理由)

☐ (Ⅳ) 支援力向上 (→具体的な理由)

☐ (Ⅴ) 地域連携活動 (→具体的な理由)

☐ (Ⅵ) 経営改善計画 (→具体的な理由)

☐ (Ⅶ) 利用者の知識向上・能力向上 (→具体的な理由)

☐ 特になし

Q32

(Ⅰ)～(Ⅶ)の項目以外に、評価指標に加えてほしい項目や取り組みがあれば、自由にお答えください。

**Q33**

- ☐

Q34

- C

## 035

[illegible]

就労支援 事業会計	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
--------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

そのように見込まれる理由を教えてください。

**Q36** 貴事業所において、賃金を支払うための損益分岐点売上高は把握されていますか？

（※損益分岐点売上高＝賃金と経費を支払うために必要な売上高）

- ☐ 収益性の異なる部門・作業別に把握できている
- ☐ 事業所全体として概要を把握できている
- ☐ 明確には分からない
- ☐ 今まで算出したことはない

**Q37** 貴事業所の経営状況の改善（向上）に係る方針決定に関わっている職員、また経営状態や財務書類等について、どの職員まで共有しているか、お答えください。

	方針決定に関わる職員	経営状態等の共有
経営層・経営部門	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
管理者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
サービス管理責任者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現場スタッフ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
賃金向上達成指導員	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q38** Q37の各職員について、経営状況の改善（向上）に対する関心・注力の度合いをお答えください。

	関心がある・注力している	まあ関心がある・注力している	あまり関心がない・注力していない	関心がない・注力していない
経営層・経営部門	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
管理者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
サービス管理責任者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現場スタッフ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
賃金向上達成指導員	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q39** 貴事業所の経営・運営に関し、事業所外からアドバイスや指導等を受けていますか。

- ☐ 法人内の経営部門から指導等を受けている
- ☐ 親会社・関連法人等から指導等を受けている
- ☐ 会計士・税理士・中小企業診断士等、有資格の専門家から指導等を受けている
- ☐ フランチャイズ、経営コンサルティング会社等の外部法人から指導等を受けている
- ☐ 特に指導等は受けていない

その他

☐

「工賃変動積立金」の積立額

Q40 (積立金が無い場合は0、わからない場合は下段にチェックを入れてください)

円（令和5年度決算時点）

☐ →わからない

「設備等整備積立金」の積立額

Q41 (積立金が無い場合は0、わからない場合は下段にチェックを入れてください)

円（令和5年度決算時点）

☐ →わからない

Q42 次の各種雇用関係助成金等のうち、貴事業所が令和5年度に受給したものがあれば、お答えください。

- ☐ 障害者雇用調整金・報奨金、特例給付金
- ☐ 職場適応訓練費
- ☐ 重度障害者多数雇用事業所施設設置等助成金
- ☐ 重度障害者等通勤対策助成金
- ☐ 職場適応援助者助成金のうち企業在籍型職場適応援助者助成金
- ☐ 障害者相談援助助成金
- ☐ 特定求職者雇用開発助成金
- ☐ わからない

その他

☐

Q43 事業所の運営方針として、【生産活動】に関する次の各項目について、どの程度重視（注力）していますか。

【生産活動】について

	重視して いない	それほど重視 していない	普 通	やや重視し ている	特に重視し ている
1.収支改善	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.売上拡大	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.新規事業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.目標設定（BEP）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.事業計画立案・実行	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.支援策活用	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1.～6.を総合して【生産活 動】に関する注力度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【生産活動】に係る項目の内容例

1. 収支改善：価格変更、原価低減、絞込・撤退、作業別収支、支援者人時売上上の作成
2. 売上拡大：商品開発、販路拡大、マーケティング調査→戦略（STP）、戦術（4P）立案
3. 新規事業：新規事業開発、利用者の好き・得意なもの×市場ニーズ→収支予測
4. 目標設定（BEP）：作業別収支の把握、損益分岐点売上高（BEP）確認→戦略当てはめ
5. 事業計画立案・実行：行動計画への落とし込み、計画の実行
6. 支援策活用：優先調達・共同受発注、設備投資補助金等、ノウハウの活用（専門家・研修）

Q44

事業所の運営方針として、【支援】に関する次の各項目について、どの程度重視（注力）していますか。

【支援】について

	重視していない	それほど重視していない	普通	やや重視している	特に重視している
7.生産性向上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.利用者能力開発（個別支援計画・訓練）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9.環境整備（治具）、工程・レイアウト改善	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.支援の効率化（マニュアル作成）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.障害特性理解	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12.利用者のモチベーション向上（含出席率）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.～12.を総合して【支援】に関する注力度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

#### 【支援】に係る項目の内容例

7.生産性向上：生産性の向上、作業アセスメント表作成→アセスメント→目標設定

8.利用者能力開発（個別支援計画・訓練）：個別支援計画への落とし込み、訓練実施

9.環境整備（治具）、工程・レイアウト改善：治具開発、工程・レイアウトの改善

10.支援の効率化：マニュアル作成、業務可視化

11.障害特性理解：障害特性の理解、利用者の見立て

12.利用者のモチベーション向上（含出席率）：利用者のモチベーションや出席率の向上

**Q45** 事業所の運営方針として、【組織】に関する次の各項目について、どの程度重視（注力）していますか。

【組織】について

	重視していない	それほど重視していない	普通	やや重視している	特に重視している
13.理念・方針の浸透（職員間の考えの調和）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14.目標達成の工夫・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15.会議設計・効率化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16.事務の効率化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17.職員育成・採用	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18.職員のモチベーション向上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13.～18.を総合して【組織】に関する注力度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【組織】に係る項目の内容例

- 13.理念・方針の浸透（職員間の考えの調和）：理念・方針の確認、職員間での共有→具体的な行動レベルのすり合わせ  
 14.目標達成の工夫・調整：5.事業計画実行に係る工夫、PDCAのC：Check（振り返り）、A：Action（修正・実行）  
 15.会議設計・効率化：会議体の設計（参加者・頻度・内容）、会議の効率化（フォーマット・議事録作成・共有・通達等）  
 16.事務の効率化：関連事務の効率化、支援・生産活動・営業活動への時間確保  
 17.職員育成・採用：職員育成（OJT・OffJT、キャリアパス設計、職能一覧等）、職員採用（募集・媒体・訴求内容・予算等）  
 18.職員のモチベーション向上：職員のモチベーション向上（EPMモデル）、処遇・待遇（給与・賞与・福利厚生・昇給昇格・人材育成）

**Q46** Q43～45の18項目を総合的にとらえて事業所運営に関し、どの程度重視（注力）していますか。

	重視していない	それほど重視していない	普通	やや重視している	特に重視している
1.～18.を総合した注力度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q47 利用者のキャリア形成（教育）について、事業所として特に実施していることがあれば、お答えください。

Q48 利用者と仕事のマッチング、および利用者が従事できるように工夫していることがあれば、お答えください。

Q49 R6報酬改定を経て、就労継続支援A型事業所を取り巻く状況・環境について感じていることをお答えください。

Q50 就労継続支援A型事業所を運営していく上での課題をお答えください。

令和4年の障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正に伴い、令和6年4月1日より、一般就労中の障害者でも、就労系障害福祉サービスを一時的に利用できることが法令上位置付けられました。

また、その取り扱いに関する留意事項については、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長通知「就労移行支援事業、就労継続支援事業（A型、B型）における留意事項について」（令和6年3月29日最終改正：障発0329第7号。以下、「R6留意事項通知」といいます。）により示されています。

**Q51 貴事業所は、復職支援を実施していますか。**

- ☐ 実施している
- ☐ 実施していない

復職支援を「実施していない」事業所へお聞きします。

**Q52 今後、貴事業所では復職支援を実施する予定や意向はありますか。**

- ☐ 実施する予定がある
- ☐ 通常は実施していないが、個別のニーズがあれば事情に応じて対応する
- ☐ 実施に向け検討している
- ☐ 実施する予定はない
- ☐ 復職支援の制度内容について把握していない

Q53

貴事業所で復職支援の実施を検討する場合に、難しさを感じる点があれば、お答えください。

復職支援を「実施している」事業所へお聞きます。

Q54

復職支援に携わるスタッフについて、以下の資格を所持しているスタッフの人数をお答えください。

	常勤	非常勤	その他
医師	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
看護師	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
精神保健福祉士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
理学療法士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
作業療法士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
言語聴覚士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
臨床心理士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
公認心理士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

産業カウンセラー	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
その他心理職	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

直近3年度（令和3年4月～令和6年3月）の貴事業所における復職支援の利用者数及び平均利用期間をお答えください。また、このうち令和6年4月末時点での復職者数、復職者のうち6カ月継続者数、及び本調査回答時点までに1回でも再休職した人の数をお答えください。

※重複障害の方については、便宜的に主たる障害を1つに定めて人数を計上してください。

	利用者数	利用終了者のうち 復職者数	復職者のうち6カ月 継続者数	復職者のうち再休 職者数
うつ病	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
躁鬱病・双極 性障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
適応障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
神経症・不安 障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

発達障害	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人
統合失調症	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人
上記以外の精神障害	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人
高次脳機能障害	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人
難病	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人
身体障害	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人
知的障害	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人
その他	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人	<div></div> 人

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

Q19の利用者について、復職支援の利用に至った経緯及びその人数をお
 56
 答えください。また、上記期間（令和3年4月～令和6年3月）に、利用
 相談はあったが利用に至らなかったケースの数をお答えください。

	利用者数	相談はあったが利用に至らなかった数
--	------	-------------------

利用者本人または家族から直接相談	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
相談支援事業所からの紹介	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
主治医からの紹介	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
企業からの相談	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
不明	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

057 復職支援の実施頻度（利用者1人に対する1週あたりの回数）

回/週

復職支援の実施時間（利用者1人に対する1日あたりの平均時間）

時間/日

復職支援プログラムの平均利用期間（利用者1人当たり：小数点以下第一位まで）

ヶ月

**Q58** R6留意事項通知 1（1）②イ c により、復職支援の支給決定利用に必要な 3 つの要件が示されていますが、令和 5 年度まで貴事業所ではこれらの事項について、どのような手段で確認していましたか。

- ☐ 本人（家族、相談支援事業所含む）から口頭、電話等で確認していた
- ☐ 主治医、企業から口頭、電話等で確認していた
- ☐ 支給決定自治体に電話等で確認していた
- ☐ 特に確認は行っていなかった

☐ その他

---

**Q59** 復職支援を実施するにあたり、主治医との連携状況についてお答えください。

- ☐ 利用者の病状や状態に変化があったときに、適宜助言を受けている
- ☐ 定期的に主治医に利用者の状況を連絡し、助言を受けている
- ☐ 主に利用開始時の意見書のみのやり取りとなっている
- ☐ その他

---

**Q60** 復職支援の質を高めるための工夫としてどのようなことを行っていますか。

- ☐ 復職支援プログラムの内容について、主治医へ相談や助言を受けている
- ☐ 通院同行するなどして、対面で主治医と情報共有を行う機会を設けている
- ☐ 地域の医療機関や保健所等の公的機関と連携して、利用者向けの講座や訓練を実施している
- ☐ その他

Q61

復職支援に関し、医療機関と連携を図る上で留意していることや、課題だと感じている点があれば、お答えください。

Q62

復職支援を実施するにあたり、雇用先企業との連携状況についてお答えください。

- ☐ 利用開始前に、雇用先企業担当者から利用者の状態像や復職支援に係る企業側のニーズ等を聞き取っている
- ☐ 定期的に雇用先企業に対し復職支援の進捗状況等を報告している
- ☐ 復職支援プログラムの内容について、雇用先企業への情報提供や打合せを行っている
- ☐ 雇用先企業へ訪問するなどして、対面で企業担当者を情報共有を行う機会を設けている
- ☐ 主に利用開始時の意見書のみのやり取りとなっている
- ☐ 復職後の定着支援において、利用者の状況等について企業側へ報告している
- ☐ その他

Q63

復職支援に関し、雇用先企業と連携を図る上で留意していることや、課題だと感じている点があれば、お答えください。

その他、貴事業所が復職支援を実施していく上で感じている課題等があれば、お答えください。

貴事業所で実施している復職支援プログラムの内容についてお聞きます。  
実施している主なプログラムを、以下の実施形態（例）に近いものから最大3つ取り上げ、回答してください。

<プログラムの実施形態（例）>

- ・ 認知行動療法・・・認知の偏りを修正し、問題解決を手助けする精神療法
- ・ 心理教育・・・疾病理解、症状の自己理解（セルフモニタリング）、セルフコントロール等の習得や活用支援を主目的としたもの
- ・ グループワーク・・・集団で様々なテーマについて話し合ったり、職場を想定し、利用者間で役割分担を決めて何らかの共同作業を行ったりする
- ・ コミュニケーショントレーニング・・・対象者が問題と感じることをテーマに、問題解決に向けて、SST（ソーシャルスキルズトレーニング）や、アサーショントレーニング等のプログラム（講義、ロールプレイ、意見交換等）を行う
- ・ 作業訓練・・・休職前の職場で行っていた業務や、復職後に想定される業務を行ったり、利用者が希望する作業を職場と同様のタイムスケジュールで行ったりする
- ・ 代償手段（代替手段）の獲得…身体障害、高次脳機能、難病等、障害の影響に応じた新たなスキルに関する知識や技術習得（例：記憶障害における手帳やICレコーダーの活用、遂行機能障害における作業手順票（事前に手順は確認する）やアラームの活用等）のためのプログラム
- ・ 運動・リラクゼーション・・・心身のリラックスを促すことや、体力増進、ストレス解消、周囲とのコミュニケーション等を意図したプログラム
- ・ マインドフルネス・・・参加者のストレス耐性の向上や自分の思考や感情への客観的視点を育てること等を目的とした、マインドフルネスの概念やスキルの学習・実践
- ・ 自己管理支援・・・安定して働くための生活習慣の構築や体調管理の準備等を支援する
- ・ 働くこと・キャリア形成・・・これまでの働き方の振り返りと今後の働き方について考える時間を持ったり、働くことについて考え、モチベーションの向上を図る復職セミナーやミーティングなどの実施
- ・ その他のプログラム・・・個人面談、通勤訓練、動機付け等、上記のいずれにも該当しないプログラム

### Q65 <復職支援プログラム①>

貴事業所におけるプログラム名①

実施形態①

選択してください



→その他の場合（具体的にお聞かせください）

### Q66 <復職支援プログラム②>

貴事業所におけるプログラム名②

実施形態②

選択してください



→その他の場合（具体的にお聞かせください）

### Q67 <復職支援プログラム③>

貴事業所におけるプログラム名③

実施形態③

選択してください

▼

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

Q68 貴事業所の復職支援プログラムを受けた後、復職した方へのフォローアップを実施していますか。

- ☐ 実施している
- ☐ 実施していない

復職した方へのフォローアップを「実施している」事業所にお伺いします。

Q69 復職した方へのフォローアップの実施内容、及びおおむねの実施期間をお答えください。

	期間設定 なし	1年以 上	6ヶ月以上1年 未満	3ヶ月以上6ヶ月 未満	3ヶ月未 満
個別面談	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職場訪問	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電話、メール等による 状況確認	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

電話、メール等による 助言	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

**070** 復職した方へのフォローアップの実施方法、及び頻度について、お答えください。

	希望に応じて実施	3ヶ月に1回程度	月に1回程度	週に1回程度	週に2～3回程度
原則全員に実施	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
必要に応じて事業所から提案する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
本人からの希望に基づき実施する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

**071** 復職した方へのフォローアップに関し、課題だと感じている点があれば、お答えください。

確認

一時保存